

作成日 2018/07/24
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	厨房・ホール用洗剤 無リン
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M180724

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器 呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H371 呼吸器、呼吸器系の障害のおそれ H373 長期間にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312) 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331) 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 直ちに医師に連絡すること。(P310)

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
 口をすすぐこと。(P330)
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
 施錠して保管すること。(P405)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

保管
 廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水酸化ナトリウム	1.0～5.0%	NaOH	(1)-410	既存	1310-73-2
水酸化カリウム	1.0～5.0%	KOH	(1)-369	既存	1310-58-3
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1.0～5.0%	HOCH2CH2OCH2CH2H	(2)-422,(7)-97	既存	112-34-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合:

直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合:

アルカリ性の製品なので、清浄な水を流しながら皮膚の刺激や、ぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合:

すぐにコップ1～2杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道の粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤:

この製品自体は、燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:
 保護具及び緊急時措置

漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項:

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の:
 方法及び機材

漏出源を遮断し、漏れをとめる。
 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の場合には、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
 安全取扱い注意事項 : アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
- 保管
 安全な保管条件 : 密栓し、直射日光の当たらない場所に保管する。
 幼児の手の届かないところに保管する。
 安全な容器包装材料 : アルミニウム、錫、亜鉛に対しては腐食性がある為、これらの容器を使用してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
水酸化カリウム	未設定	【最大許容濃度】 2mg/m3	TWA -, STEL C 2 mg/m3
水酸化ナトリウム	未設定	【最大許容濃度】 2mg/m3	TWA -, STEL C 2 mg/m3
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	未設定	未設定	TWA 10 ppm(IFV), STEL -

保護具 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	液体
	色	青色透明
臭い		僅かな原料臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		13以上
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1.11
溶解度		水に良
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常条件で安定
化学的安定性	酸と接触すると発熱する。 アルミニウム、錫、亜鉛等の金属を浸し水素を発生し、これが空気と混合して引火性爆発することがある。
危険有害反応可能性	情報なし

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

情報なし
情報なし
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮

急性毒性推定値が568mg/kgのため区分4に該当。
急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

吸入

(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)
データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品のpHが13のため塩基(pH \geq 11.5)とし、区分1に該当。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性

製品のpHが13のため塩基(pH \geq 11.5)とし、区分1に該当。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(呼吸器感作性)

データ不足のため分類できない。
(皮膚感作性)
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。

発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
(生殖毒性)
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器系)の成分が5%のため、区分2(呼吸器系)に該当。
区分1(呼吸器)の成分が5%のため、区分2(呼吸器)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(肝臓)の成分が5%のため、区分2(肝臓)に該当。
区分1(呼吸器)の成分が5%のため、区分2(呼吸器)に該当。

吸引性呼吸器有害性

動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(毒性乗率 \times 100 \times 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3の成分合計が5%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

水生環境有害性(長期間)

(毒性乗率 \times 100 \times 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。
毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
 国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

UN No.

1719

Proper Shipping Name

力性アルカリ類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)

Class

8

Packing Group

II

Marine Pollutant

Not applicable

Transport in bulk according to MARPOL

Not applicable

73/78,Annex II ,and the IBC code.

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.

1719

Proper Shipping Name

力性アルカリ類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)

Class

8

Packing Group

II

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

1719

品名

力性アルカリ類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)

クラス

8

容器等級

II

海洋汚染物質

非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

1719

品名

力性アルカリ類(液体)(他に品名が明示されているものを除く。)

クラス

8

等級

II

緊急時応急措置指針番号

154

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) 水酸化カリウム(政令番号:316)(1%-10%) 水酸化ナトリウム(政令番号:319)(1%-10%) ジエチレングリコールモノブチルエーテル(政令番号:224の3)(1%-10%)
水質汚濁防止法 海洋汚染防止法	腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
船舶安全法 航空法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1) 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。